

4月25日朝礼 校長講話

今日もすごくいい姿勢でまっすぐに立ってくれました。入ってくる
とき、「誰もいないのかな」と思ったくらいです。本当にあ
りがとう。

今日は、「思いは見えないけれど、思いやりは見える」とい
うお話をします。

みんなも知っているように、熊本で地震が起こって、残念な
がら亡くなった人やけがをした人たちがいます。道路や建物が
壊れてしまって、避難所で暮らしている人たちがたくさんいま
す。ニュースやテレビで見て、みんな知っているとおりに、土日
にボランティアとして現地でお手伝いした人たちがたくさんい
ました。地震が起きて、みんな「何かしてあげたいな」という
気持ちを持っていると思います。そういう気持ちをボランティア
だったり、あるいは児童会の人たちが呼びかけた募金活動に
募金したりして思いを表すことができます。

学校や家でも同じで、いろんなことをしてもらって、「あり
がとう」と感謝の気持ちを伝えたり、お手伝いをしたりして
表すことができます。

今朝、6年生の子が1年生の子に「どうだった？大丈夫？」
と声をかけていたように学校の中でも、言葉や行動で表すこと
で思いは見えるようになります。優しい心で行動したり、声か
けをすることで相手に思いが伝わります。

「思いは見えないけれど、思いやり
は見える」というお話をしました。

優しい行動や言葉で学校がいっぱい
になって、思いが伝えられるようにな
るといいなと思います。

